

図書館情報資源の共同利用
- 国立国会図書館の総合目録 -

国立国会図書館
図書館協力部主任司書
児玉史子

図書館協力部の児玉です。平成 10 年 4 月(1998.4)から、「国立国会図書館総合目録ネットワーク」を担当しております。この総合目録を中心に国立国会図書館の総合目録事業について報告させていただきます。

1. NDL と総合目録

NDL の総合目録への取り組みについて、まず、創立以来の歴史を振り返ってみますと、国立国会図書館法第 21 条の 4 に「日本の図書館資料資源に関する総合目録、ならびに全国の図書館資源の連繋ある使用を実現するために必要な他の目録及び一覧表の作成のために、あらゆる方策を講ずる」とあります。創立当初から、総合目録の作成・提供は当館の任務として位置づけられており、当館に納本されない資料をも含めた「全日本出版物総目録」(1948～1976 昭和 51 年版で終刊) 大学図書館を主として、全国の主要機関で所蔵する洋図書についての「新収洋書総合目録」(1949～1987)等の総合目録を、冊子で継続的に編纂刊行してきました。しかし、「新収洋書総合目録」は、各参加館のコンピュータ化によるカード作成中止、当館の人手・コストの問題もあり、1984-87 の 14 分冊(1990 年刊)をもって刊行を中止しました。内容的には、学術情報センター(現国立情報学研究所)の総合目録データベース(NACSIS-CAT)が継承しています。

また、「全日本出版物総目録」も「日本全国書誌」を充実させることを以って代わりとすることとし、1976 年に刊行を中止しています。

近年、冊子等で刊行した総合目録として、以下の 2 種をあげておきます。

「NDL CD-ROMLine 点字図書・録音図書全国総合目録」(年 2 回更新)

点字図書館、公共図書館の製作した点字・録音図書の総合目録で、CD-ROM で出版しています。なお、昭和 57 年(1982)から刊行していた冊子体は、平成 10 年(1998)6 月、34 号で終刊しました。

「南アジア関係逐次刊行物総合目録 国立国会図書館 アジア経済研究所
(財)東洋文庫 東京大学東洋文化研究所 東京外国語大学所蔵」(平成8年(1996)
6月刊)

2. 冊子からネットワークへ

当館設立当初に想定された総合目録は冊子・あるいはカード形態の総合目録であり、有用性は認識されつつも、コストの問題等から中止を余儀なくされました。その後の図書館における業務の機械化、書誌のデータベース化の進捗、また、通信技術の発達を背景にした図書館業務のネットワーク化、図書館の相互協力が現在進展しつつあります。NDLも、関西館の建設、国際子ども図書館の開館を機に、コンピュータ、ネットワークを基盤とした総合目録の実現を検討してきました。以下御紹介する総合目録は、そのような検討を経て、冊子の刊行という形ではなく、図書館のネットワークを基盤に実現した総合目録です。

・NDL 総合目録ネットワーク事業

この総合目録は、公共図書館の総合目録ですが、後ほどデモンストレーションを含めて、紹介させていただきます。

・国際子ども図書館児童書総合目録

本年5月5日に開館した国際子ども図書館のサービス基盤として構築されたもので、国立国会図書館本館、国際子ども図書館、大阪国際児童文学館、神奈川近代文学館、三康図書館、日本近代文学館、都立日比谷図書館児童資料室の児童書(図書・逐次刊行物)の書誌情報を収録した総合目録データベースです。(収録件数:図書 約17万件、逐次刊行物 約5千件)現在、NDLのHPから検索出来ます。

日本の主要な児童書専門機関の書誌情報を統合し、さらに書評・受賞情報なども収録し、専門書誌として機能する総合目録を目指しています。

・全国新聞総合目録データベース

この総合目録は、当館が、新聞マイクロフィルム、複製版の所蔵状況を掲載して5年毎に冊子で刊行していた「全国複製新聞所蔵一覧」を原紙の書誌・所在情報も加えてデータベース化したもので、公共・大学図書館、専門情報機関、主要新聞社・放送局等約1,300機関のデータ約17,500件を収録しています。新聞資料の全国的な所蔵情報を一つにまとめたものとして、新聞資料の保存協力、メディア変換を進めるための基礎データとなるもので、今後の関係諸機関との協力が期待されています。現在データ検証中で、今後インターネット上に公開する予定です。

いずれも、参加図書館から収集したデータを統合して一つのデータベースを構築し、その維持管理、またネットワークを介しての提供をNDLが担っています。また、先ほど紹介した「点字図書・録音図書全国総合目録」ですが、この総合目録は、冊子、CD-ROM版で発行してきましたが、すでにデータベース化されており、都道府県立及び政令指定都市立

図書館、一部の点字図書館には、オンライン（NOREN）で提供しています。平成 14 年度（2002）を目前に、このデータベースもインターネット上に公開する予定です。

3. NDL 総合目録ネットワーク事業（デモ）

開発経緯：平成 5～6 年度（1993～1994）総合目録ネットワーク・パイロットプロジェクト実験

平成 6～9 年度（1994～1997）IPA との共同実験「パイロット電子図書館総合目録ネットワークプロジェクト」として実験を続け、平成 10 年度（1998.4）から当館の事業として本格実施している総合目録です。

物理的制約を越えて「コンテンツ」（一次情報）を提供するのが電子図書館の役割ですが、そのためには、コンテンツに関する情報（二次情報）の提供の充実が必須であり、総合目録がその役割を担うと位置づけ、実験を行いました。実験の結果、その有効性が確認され、本格実施となった次第です。

現状ですが、

- ・参加機関：日本各地の中心的な図書館である全都道府県立図書館及び政令指定都市立図書館 71 館のうち 64 館が参加しています。データ提供館は 30 館ですが、今年度中に 4 館、来年度 5 館ほど増加する予定です。また、平成 13 年度以降、市町村立図書館に拡大する方針で、今年度市町村立図書館 156 館に依頼して調査を行っています。データ件数は約 1,600 万件です。（詳細は資料をご覧ください）
- ・実施にあたって、目的を以下のように定めました。

公共図書館の図書館資源の共有化を図り、公共図書館における書誌サービスの標準化と効率化を図るとともに、公共図書館の県域を越えた相互貸借を支援すること。

このデータベースの構築の目的を、書誌を共同で作ることではなく、図書館協力の一環として全国規模の相互貸借を支援することとしたため、システムに各図書館の相互貸借情報を参照できるようにしたこと、書誌検索から貸借依頼を電子メール送信することまで、一連の作業でできるようにしたことなど、相互貸借支援機能を備えたことが、この総合目録の大きな特色といえます。

また、システム構築にあたっては、参加図書館の負担をできるだけ少なくするため、人手をかけないようにしました。各図書館が、自館のデータベースから JAPAN/MARC を拡張定義した「総合目録共通フォーマット」に従って、機械的にデータ抽出を行い、送信する仕組みを採っています。さらに、NDL 側のシステムでも、書誌の統合にあたっては人手をかけず、機械的に書誌同定を行っています。

この総合目録は、都道府県立及び政令指定都市立図書館と限定されてはいますが、全国の公共図書館の書誌・所在情報データベースとしては初めてのものです。NACSIS(現 NII) の総合目録データベースはありますが、大学図書館が主で公共図書館の参加は少数です。

この総合目録が稼動したことにより、全国規模での相互貸借が大いに促進されました。データ提供館からは、県外への貸出が、一挙に4倍になった等増大が報告されています。このような全国規模の相互貸借の増大に対応するため、平成11年度(1999)に全国公共図書館協議会により「公共図書館相互貸借指針」が制定されています。このように、公共図書館相互の貸出の拡大とともに、NDLのバックアップライブラリーとしての役割も認識され、公共図書館との役割分担が出来つつあると考えられます。

また、各県域での総合目録ネットワーク構築の気運も高まりつつあります。市町村あるいは県域を越えての図書館協力、相互貸借の増大は、利用者の要求の多様化・高度化に一つの図書館では対応しきれなくなったという時代の要請もありますが、「総合目録ネットワーク」は、そのような要求に応えるための仕組みの実現として、意義あるものであったといえます。

4. 今後の総合目録とNDLの役割

以上、ご紹介した総合目録が、例えば総合目録ネットワークが相互貸借のツール、レファレンスのツールとなり図書館協力の基盤となりつつあると同様に、児童書総合目録が関係諸機関の協力研究ネットワーク構築の基盤となり、新聞の総合目録が新聞マイクロ化共同事業の基礎となるなど、それぞれの総合目録が、それぞれの業務の基盤形成の有力なツールであることが、確認されつつあります。

総合目録の作成・提供は、館法に規定されているように、日本の図書館資料資源に関する情報を提供することが第一の目的ではありますが、図書館ネットワークに基づく図書館業務を支える基盤としての役割が、今後はより重要になってくるのではないのでしょうか。

関西館開館後、公共図書館を結ぶ国立国会図書館総合目録ネットワーク、点字図書・録音図書全国総合目録については、図書館協力事業の基盤として、関西館で新たに展開していきたいと考えています。